

パラダイムの転換

理事長

古泉 肇
(昭三十六年卒)

亀田製菓株式会社
名誉会長



平成二十年度同窓会総会を迎えるに当り、高嶋会長の主導のもと、ますますの御発展心から御喜びを申し上げます。

今年も各界から多くの方々が集い盛会に開催されることを重ねて御祝い申し上げます。

我等が母校は昭和十一年三月に実業人・企業人を目標として創立され、建学の精神である「報恩感謝」「勤労奉仕」を実践し、いわゆる「北越魂」が育ち繁栄してまいりました。

この優れた実績は、まさに私立学校の雄の名に相応しいものがあり、この輝かしい伝統を守り、これからの北越高等学校は新しい時代を切り開く先駆者としての役割を担うことが求められており、これを果たすことが社会的使命であります。

こうした中、少子化の進行はますます厳しさを増し十年後の新潟県中学卒業者は二万人台になり、この前後二十年の間に34%減少することになります。このことは学校の存立基盤を危うくし、学校間競争を激しげにする

厳しいものを意味します。いままででない「危機」的状態であり学校改革への取り組みが喫緊、不可欠の課題でもあります。

学校法人理事会は「校舎改築基本構想等、策定プロジェクトチームを平成十六年二月に結成し、八回に亘る審議の末最終答申書を受理し、十七年八月に決議した。

「二、基本的考え方」、「二、改築の基本方針」を二本の柱として「育つ学校、育てる学校」の理想を実現するための基本構想が骨格となった。危機を「改革」を意味しそれを実践することである。

学校改革の基本姿勢は「パラダイムの転換」である。「入れてやる」「学校から「来てもらう」「入りたい」学校に変貌することである。改革の担い手は直接には校長を先頭に教職員である。その実践を助ける力がある。本校には輝かしい財産があり、それは伝統である。

この「改革力」と「伝統力」が結びつかない限り本校の輝きは本物にならない。

来年六月には第二期工事が完成し、外構工事は残るものの、ほぼ改築全容の雄姿が現われ、現実のものとなり楽しみであります。最後に、同窓会の皆様から賜りました御支援に対し心からの敬意と感謝を申し上げます。皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

五階建新校舎でスタート

校長

鈴木 厚生



「すつこく明るくてきれいな学校!」「ここで勉強できて嬉しい!」「我慢!」等、本校生徒達の喜びの声とはじける笑顔が、校内に満ちています。校長として一番嬉しいことです。

「北越はすごい!」と、来校された方々も、口々に驚きと感嘆の声を洩らされます。そして評判は、さざ波が輪になって広がると、現在県内外に波紋を大きく広げている模様です。

この春、I期工事としての教室棟が完成し、県や消防署等の検査を経て三月三十一日、施工三社JVから引き渡されました。翌四月一日より、専門業者のみならず在校生と教職員も力をあわせて引越作業を行い、平成二十年北越高校の歴史は、五階建新校舎から歩み出しました。

生徒一人一人が、本校に学ぶ誇りと気概に満ちて、各自の自己実現(夢)

向かって、勇往邁進してくることを、心から願っています。本校での高校生活を、この素晴らしい新校舎で、更に充実した日々として重ねていってほしい、と願っています。

引き続き、この四月からII期工事が始まり、五月下旬から旧校舎棟の解体に入りました。数多くの同窓生の思い出が詰まった鉄筋校舎が、日々瓦礫と化していく様子を、胸が締め付けられる思いで見えております。その跡地には、来年六月末を完成目途として、ホールと体育館が建設されます。

これらの工事には、国や県、市からの補助金ももとより、同窓生、後援会、PTA、一般企業からも絶大なご協力を頂いております。斯様に、非常に多くの方々から熱い思い(期待)を寄せて頂いている北越高等学校です。III期までの工事が計画通りに進みます様、今後とも御協力の程をお願い申し上げます。

「思い・想い」

同窓会名誉会長

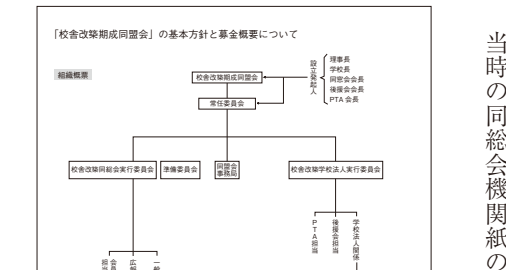
野崎 正平
(昭二十四年卒)

一正蒲鉾株式会社
代表取締役会長



新校舎「教室棟」の完成を心からお祝い申し上げます。

先号に贈らせていただいた祝辞の中にも述べましたが、期成同盟会発足の時、会長に就任した私にとりましての新教室棟完成は、正に、孫の誕生に等しい感があります。今から十二年前の平成八年「新校舎改築期成同盟会」が発足しました。当時の同窓会機関紙の



名称は「北越高等学校同窓会だより」でした。(その後「ほくえつ」に名称を変更)この第四号に基本方針が掲載されました。(別図参照)

その後日本経済は勿論のこと学校も同窓会も大きな変革を見ました。にもかかわらず、我が母校関係者は校舎改築に向けて一糸乱れず、今日を迎えることが出来ました。

既に第二期工事(体育館・部室棟・視聴覚ホール)に着手し、平成二十一年末にはグラウンドも完成予定と聞きますが、生徒たちの歡ぶ顔を見ると、嬉しさは格別のものがあります。

校舎改築のためにご尽力くださった方々とともに、この喜びを分かち合いたいと思います。すばらしい校舎の完成、誠におめでとう御座いました。

幸せとやすらぎをつくる



株式会社 **長北工務店**
有限会社 **長北工務店不動産部**

代表取締役 長北 喜雄

本社 〒950-0051 新潟市東区物見山1丁目13-22
TEL (025) 273-0645 (代表)